



<校訓>  
自主  
創造  
協力

令和3年5月7日(金)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する  
生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、  
みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

# 「いつも力(りよく)」って何だろう？

## ～普段の力のレベルを上げよう～

◆数年前のことでした。あるラーメン屋さんのドキュメンタリーで「なるほど」と思ったことがあります。若いラーメン屋さんが渾身(こんしん)の一杯を師匠に食べてもらう日までの話でした。

◆その日、師匠は、その一杯を食べました。何も言いませんでした。次の日また食べに来るといきました。その後、数日食べ続け、「ダメだ」と言いました。美味しかったかどうかはともかく、毎日味が違うことがダメだと言いました。そこにプロを思い知らされました。「いつも」をすぐくすることが大切なんだと思いました。その人にとっての「いつも(普通)」が、他からは凄いとところに「プロ」はあるんだと思われました。



◆野球の打率とも違うと思いました。10打席のうち3本のヒットを打てば打率3割で高打率なのですが、それではダメなのです。だからといって、10割は誰も打てません。問題は、アウトになる他7打席に意味があるのだと思います。試合の流れの中で、初球から打っていつかはいけないときに打ってしまう凡打はダメなのです。ランナーが1塁にいるならば、進塁打を打つために右打者は外角に目を置いて引きつけて打とうとしているか、そういう意味ある失敗を含めた「いつも」の価値で評価されるのだと思いました。(野球が好きな人は分かると思うのですが・・・)

◆ラーメンの味は、ラーメン屋さんの体調で変わってしまうこともあるそうなので、体調管理を含め、日々移り変わる条件のもと「いつも」を発揮していくことが求められるのだと思いました。ある日の一発のようなものではなく、「いつも」の凄さが大切だということなのです。

◆先生は、息子と部活動のことを話すときに、失敗のレベルを上げるように話してきました。息子は中学校、高校と陸上部(長距離)でしたが、『調子の良い日は、ほぼない。それを当てにしているうちはダメだ。調子の悪い日のレベルを上げるしかない』と話しました。「調子や条件が悪いときに、どのくらいのことのできるかを練習のテーマにきなさい」と助言しました。先生は専門がバドミントンなので、陸上はほとんど分かりません。でも、先生の部活動の経験から助言しました。「日々移り変わる「自分」や「条件」に対応した練習をきなさい」と。体調が悪い日の練習、風の強い日の練習。また、単調なことが続くならば、それに飽きずに「いつも」を出し続けることの大切さ・・・など。(陸上については小畠先生、隈部先生なら分かると思います。)

◆すごい人は、すごいことをする人ではなく、その人にとっての「いつも」のレベルが高い人のことだと思います。自分の「いつも」を高めていくことが成長だと思います。難しいことではないのです。毎日の「いつも」のレベルを少しずつ高めていけばいいのですから。

◆先生が赴任して1か月以上が経ちました。尾倉中学校の生徒の力はすごいなと感じてきました。ただ、尾倉ノート、あいさつなど「いつも力(りよく)」を高めたらもっとすごいのに、と思うときもあります。4月、5月は自分を変えるチャンスです。すぐに修正できるのも尾倉中学校の生徒です。期待しています!頑張り、尾倉中170名の生徒たち!

# オリンピック・パラリンピック教育推進校として

尾倉中学校は令和3年度北九州市オリンピック・パラリンピック教育推進校に指定されました。コロナ過ではありますが、感染防止に努めながら様々な取組を通して生徒にスポーツの楽しさ、意義、また、国際理解についても考えさせたいと思います。

現時点では、車いすテニス リオデジャネイロオリンピック日本代表 二条実穂選手との交流を予定しています(予定では7月ですが、感染拡大になれば中止または延期の可能性もあります)。



スポーツ庁では、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを全国に展開し、大会の成功と機運醸成を図ると同時に、そのレガシーとして、新しい時代のオリンピック・パラリンピック教育の可能性を全国に伝えていきたいと考えています。既にオリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいた学校関係者の皆様には、御理解・御協力いただきありがとうございます。

現在、文部科学省では、GIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想を掲げており、これらの端末の利用が本格的に始まる本年は、東京2020 オリンピック・パラリンピックが開催される年に重なります。

こうした機会を捉え、スポーツの楽しさを伝えるとともに、より質の高い学びの可能性を全国の子供たちに提供するため、スポーツに携わる方々のメッセージを紹介するサイトを開設しました。本サイトでは、4K超の高精細、180度超広角あるいは360度パノラマ動画(VR)やオリンピック・パラリンピックでメダルを目指すトップアスリートからの力強いMESSAGE、オリンピック・パラリンピック教育に関する参考資料等にアクセスすることができます。

乗り越える。「スポーツの力」をすべての子供たちへ～オリンピック・パラリンピック教育特設サイト

《閲覧方法》以下のURL より本サイトにアクセス可能です。

<https://www.mext.go.jp/sports/tokyo2020education/>